# 令和2年度愛媛県人権・同和教育研究大会

愛媛県教育委員会と愛媛県人権教育協議会は、「差別の現実から深く学び、『部落差別の解消の推進に関する法律』の具現化を目指して、地域ぐるみで人権・同和教育を推進しよう」をテーマに、県内各地の実践を通して学び合い、差別解消に向けて取り組むために、標記研究大会を次のとおり開催いたしました。

【全体会】

午前中は、県民文化会館メインホールで、全体会を行いました。参加者数は約1,300人で、多くの参加者を得て開催することができました。

○　開会行事

今回の大会は、新型コロナウイルスとの闘いの長期化が見込まれる中、開催が危ぶまれましたが、感染症対策を行った上で、無事開催することができました。「開会のことば」で始まり、県教育長の挨拶の後、県知事から祝辞をいただきました。また、今年度は、武智省三様と浅田淳様が、人権・同和教育推進功労者として知事表彰されました。

○　動画上映

「部落差別解消をめざす動画メッセージ」コンテストに応募された中から、優秀作品として選ばれた4作品の上映と表彰を行いました。

［優秀作品一覧］

| 作品タイトル | 所属・団体名 |
|---|---|
| 「ことほぎの心」 | 愛媛県立大洲高等学校 |
| お世話になったのに差別するなんておかしいよ | 松野町あおぞら子ども会 |
| 思いを受け継ぐ　～部落差別解消推進法施行から3年…～ | 愛媛県人権教育協議会　新居浜支部 |
| 私たちが差別をなくします | 伊予市立港南中学校 |

【分科会】

午後は、市内6会場（にぎたつ会館、エスポワール愛媛文教会館、松山市民会館大ホール、中ホール、県民文化会館メインホール、サブホール）で、分科会を行いました。約1,000人が、100～250人に分かれて参加し、部落差別の解消や人権課題の解決に向けて、約2時間、協議することができました。